

安曇野市男女共同参画推進審議会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 会議名 | 第4回 安曇野市男女共同参画推進審議会（第4期） |
| 2 | 日時 | 平成28年3月24日 午後1時30分から午後3時15分まで |
| 3 | 会場 | 安曇野市役所 本庁舎 共用会議室305 |
| 4 | 出席者 | 湯澤委員、近藤委員、田中(吉)委員、下里委員、望月委員、高山委員、増田委員、日比野委員、田中(好)委員、菅澤委員、小林委員、平田委員、細川委員、降旗委員、宮下委員
(欠席委員) 黒岩委員、細萱委員 |
| 5 | 担当課出席者 | 藤松部長、市川課長、山口係長、堀田主任 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴人 | 0人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成28年3月31日 |

協 議 事 項 等

【協議事項】

- 1 平成27年度主要施策の実施状況及び平成28年度実施計画について
- 2 平成28年度重点推進事項について
- 3 市町村における男女共同参画の推進状況
- 4 その他

【会議概要】

- 1 平成27年度主要施策の実施状況及び平成28年度実施計画について
- 2 平成28年度重点推進事項について

【要旨・主な意見】

事務局：平成27年度主要施策の実施状況及び平成28年度実施計画及び平成28年度重点推進事項についての説明

会 長：質問、意見があればお願いしたい。

副会長：「4 学校教育での人権・男女共同参画教育の推進」の直接の担当は学校教育課だが、27年度重点事業の実施状況で「様々な差別をなくす授業や講演会等を展開しました」と載っている。取り組みの具体的な内容は、事務局の方で資料として持っているか。

事務局：手持ちにはない。

委 員：人権男女共同参画課として抑えていただき、一覧表にしたものを資料としていただければありがたい。

委 員：資料の「37 障がい者支援サービスの充実」で、障がい者の支援をするボランティアはいろいろ組織があり、それぞれに支援が必要かと思うが、ボランティア団体の8割が女性で構成されているのが現状である。男性も参画できるような、そんなボランティアの組織を作り支援していただければと思う。

事務局：28年度以降の検討事項としたい。

委 員：先ほど人権に関する授業や学習会と出たが、安曇野市内の小中学校では、5月6月頃の人権の月間に行っている。学校の中で全教科・全活動へ人権に関する取り組みを入れている。内容に関しては、子どもの人権が主である。それから、中学生では平和学

習にも結び付け、市の10周年事業の中で発表するなど、様々な活動を行っている。とりわけ男女共同参画の勉強をするわけではないが、人権の広い範囲の中で学習をしている。特にジェンダーやジェンダーフリーについては、今学校の中でも話題になってきている。

会 長：学校によっては、性教育をきちんとやらなくてはいけないのではないかと、近隣では麻績村が小・中学校にしっかり取り入れていこうと始まっているが、安曇野市の動きはどうか。

委 員：小学校の4年生、5年生あたりにしっかり機会を設けて行っている。性の事だけでなく、人権のことを交えて体を守ることを伝えている。

会 長：男女共同参画を人権学習の計画の中に組み入れたり、男女共同参画だけを取り立ててやるのはとても大変なことだと思う。人権学習の範囲は広いので、その中に男女共同参画の視点を踏まえながらやっていただければ良いのではないかと。しかし一概に男女共同参画の視点と言っても、どのようにやればいいのか難しい。

市の生涯学習課では、人権教育指導員という制度も置いているものの、この方たちが必ず男女共同参画の視点を持ってお話をしているわけではない。ぜひ、行政とのパイプ役である男女共同参画コミュニケーターを人権学習会や地域の交流会で活かしてほしい。啓発と学習を一緒になってやってもらうことが良いのではないかと。

委 員：今の子どもたちは男女共同参画に近い勉強をしてきたのではないかと。むしろ歳を重ねた方々の方が男女共同参画の教育を受けておらず、そういった人達の意識改革が必要ではないかと。

委 員：今の子どもたちは言わなくても男女共同参画は分かっているが、むしろ私達の年代の学習が必要ではないのか。しかし、最近は挨拶をかけても無視をする子どもも増えてきているので、そういった勉強の方が大事ではないかと。

会 長：社会の変化で男女共同参画の考え方も変わり、学校では男女共同参画については大半ができていないのではないかと。今の若い方は男女共同参画なんて考えもしていないだろうが、女性も男性も一緒に子育てをしないと回っていかないのが今の社会の現実ではないかと。我々の世代の意識を変えろと言われても、そう簡単にはいかないかと、まずは地域の環境を少しずつ直していくことが地域の大事な役割だろう。

大人が態度を変えて行かないといけない世の中ですが、子どものあいさつを注意できるような大人も増えてほしい。

委 員：意識を変えていくことは、まず家庭などから話し方を直すことから必要ではないかと。高齢の方にも分かるような、男女共同参画の啓発をペープサートといったものを通して行う必要があると思う。

委 員：昨年の男女共同参画フォーラムでの講師、前長野県副知事加藤さゆりさんが数値目標と言っていたが、安曇野市を例にとると区長は女性1名のまま、地区公民館長も女性になったところもあるものの、また他にも校長先生の人事異動を見ると女性は昨年並みの人数になっていた。そういった女性の登用というものはほとんど変化していないのが現状ではないかと。数値が上昇に向かない原因をどういう風に突き詰めていくか、27年度の男女共同参画の審議会での評価や反省を活かして、28年度に向けて具体的に事務局の方で評価や数値目標を考えていただきたい。

事務局：ウィズ安曇野プランにも数値目標が載っており、それに向かって各課それぞれやっただけしているが、実際その目標数値を達成するのは難しいところである。担当には、実施状況・計画を出していただくときに、なるべく数値で表せるところは表していただくようお願いをしている。目に見える数値があると状況が分かり易いので、今度の3次計画にもぜひ取り入れていきたい。

ただ、内容によっては女性の割合だけがが増えていくのが重要ではなく、男性の割合が増えていくことでプラスになることもある。

会 長：資料は文章ではなく、もっと数値と言った「見える化」をする努力をしてほしい。

委 員：目標として数値は大事だが、女性が活躍するということは、実際家庭の中でもかなり大変になる。やはり出てこられる女性というのは子育てが落ち着いた方にぜひやってもらいたい。そういった方の意識の改革をやってほしい。

会 長：フォーラムで加藤さゆりさんが、「トップが変わらないと世の中も変わらない」とおっしゃっていた。地域の環境を変えるためにも、行政にはぜひトップダウンで「これでいきましょう」というものを出していただければありがたい。

事務局：難しいことなので、一つのきっかけになることを作ってやっていきたい。市役所の特定事業主行動計画にしっかり入れるなどしてやっていきたい。

委 員：明科地区で女性の教育委員が出た。彼女がこれから維持出来るよう、周りでフォローしていかないとかなければならないと思う。

委 員：区長や公民館長は大変なので、中々できないのは分かるが、ボランティアといった団体は女性が多い。女性が尻込みしているのでしっかり男性も支え、意識を変えなければならぬと感じる。

会 長：男性にも女性にやってもらえるよう意識を向かせることが大事である。

委 員：27年度こうだったから28年度どのように努力するのかといったことを書かないと、男女共同参画の担当が深く踏み込んで行かない限り去年と同じ回答になっている。

3 市町村における男女共同参画の推進状況

【要旨・主な意見】

事務局：市町村における男女共同参画の推進状況の説明

会 長：意見があればお伺いしたい。

委 員：資料3の数値にアンバランスが生じているようには感じない。こういったものは努力すれば結果として表れてくるのではないかと。

4 その他

【要旨・主な意見】

事務局：女性活躍推進法に関しては、職員課が中心になって4月1日に向け準備を進めている。301人以上の事業所でしっかり計画を立て、今後は啓発を進めていきたい。

委 員：自分の家庭では、女性が炊事、男性が力仕事となっているので、そういった意識を変えて行こうと思う。

最近の子どもは素直で、男女関係なしに登下校しているのを見かける。子どもからむしろ学習させられている感じがする。

委員：以前所属していた団体では、男性の理事者、女性の理事者どちらも本当にすごかった。しかし、家庭環境がネックになっていたので、意識改革から始めればよいのではないか。介護は女性がやることで役を辞める人もいるので、先程の意見のとおり周りの後押しやフォローが大事だと思う。

委員：女性の代表者も女性を育てていく、協力して後押しするといったことも重要ではないか。そうやって支えてくれる部分があれば社会が理解していけるのではないかと思う。

委員：女性が出やすくするには、家族の協力や長を補佐する人がいて助けないとやっていけないと思う。一人だけで行うのではなく、周りの人と助け合ってやるべきだ。

会長：主要施策の連携・調整会議を各担当としっかりやっていただきたい。

事務局：事務局側でもしっかり連携取って任せっきりにならないよう、委員の意見をしっかり受け取って進めて行きたい。後戻りのない形で進めていきたいのでご指導いただきたい。

副会長：今日は多くの意見があったので、事務局でまとめ、活かしていけるようお願いしたい。数値目標という話もあったが、ものによっては数値で表しやすいもの、しにくいものもあると思う。男女共同参画は歴史があるがそんなには進んで行っていない。本日の審議会でも議論したように、男女共同参画ができるだけ前に進んでいくことができればよいと思う。